

教科教育課だより

第23号 R元.9.20

茨城県教育研修センター
教科教育課
☎0296-78-3213 (直通)

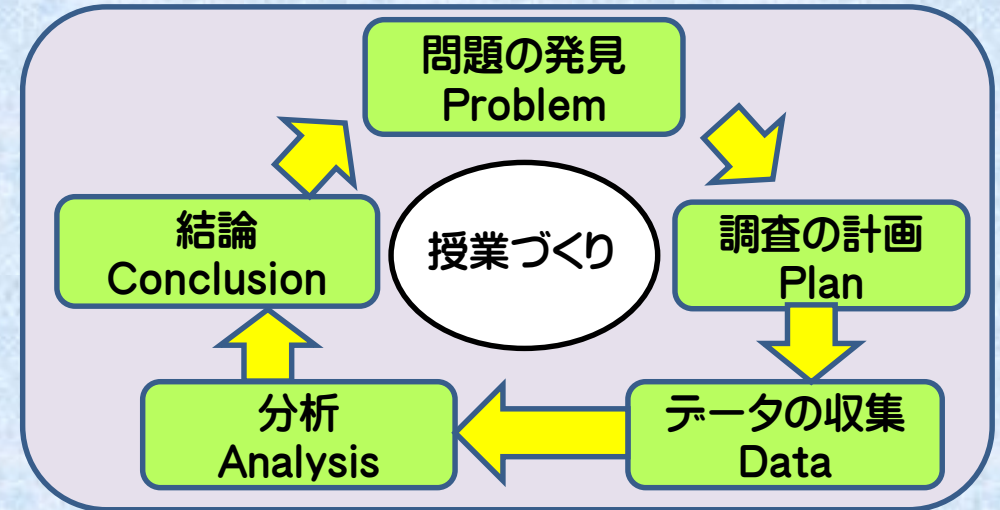


～未来ある子供たちのために For Our Children～

8/21 学習内容のつながりを踏まえた算数・数学科授業力向上研修講座を実施しました

講義「学習内容のつながりと授業改善」 国立大学法人茨城大学教授 小口 祐一 先生

本質的な深い学びを引き出すために、「数学的な見方・考え方」を働かせる授業づくりについてのお話がありました。「データ」の活用・分析」の単元を例にあげ、Problem(問題の発見), Plan(調査の計画), Data(データの収集), Analysis(分析), Conclusion(結論)そして、再びProblem(問題の発見)のサイクルで授業づくりをしていくことを学びました(右図)。受講した皆さんは、「紙コプター」の羽根の長さの違いと滞空時間に着目して収集したデータを、度数分布表やヒストグラムに表すことで、より客観的に分析することができ、そこから新たな問題の発見をすることができることも学びました。



実践発表・研究協議「児童生徒の課題改善を図る授業の在り方」



新治学園義務教育
学校 本松 教諭



大洋中学校
永野 教諭



磯原中学校
竹内 教諭



古河中等教育学校
鎌谷 教諭

小・中・高それぞれの校種から4人の先生方に、学習内容のつながりを踏まえた授業づくりと児童生徒の課題改善の成果について実践発表をしていただきました。研究協議では、学習内容のつながりを踏まえた授業づくりという視点から、自分が実践した学習指導案をもとに、日々の授業について振り返りをしました。受講者からは、「他の校種の先生方と話ができて、今行っている授業の内容がどのようにつながっていくのかを改めて知ることができました。」等の感想があり、学習内容のつながりを踏まえた授業づくりの大切さについて実感することができました。

【参考リンク】

- ・なるほど統計学園
<http://www.stat.go.jp/naruhodo/index.htm>
- ・科学の工具箱
<http://rika-net.com/contents/cp0530contents/01.html>
- ・センサス@スクール <http://census.ism.ac.jp/cas/>
- ・データで学ぶ統計活用授業のための教材サイト
<http://estat.sci.kagoshima-u.ac.jp/data/>

「研究発表会」のお知らせ

- 算数・数学 12月25日(水)9:30~16:00
「単元や題材を通して資質・能力を育てる学習指導の在り方」について究明していきます。
ぜひご参加ください。